

亀さん通信

蒸し蒸しする日が続きますが、いかがお過ごしでしょう？

亀のように歩みは遅くとも、『お金力』をしっかり・確実に身に付けていただく【亀さん通信】第 153 号の発信です！

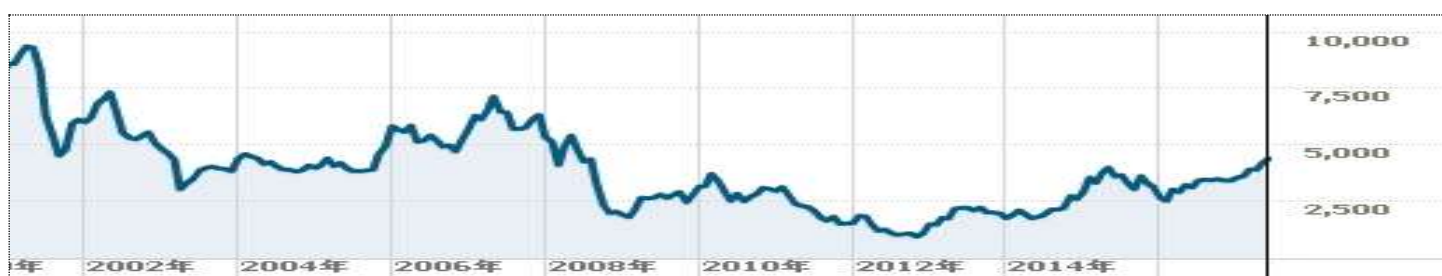
「みんなと同じ」は嫌なんです！

先日、知人から電話が入りました。何かと思ったら**株取引の相談**です。保有株が値上がりし、いくらで売ったらいいか悩んでいるとのこと。どこまで上がるのかと聞かれ、「わかりません」ときっぱり答えました。それが分かるなら、今頃大金持ちですよ。(笑) それにしても 200 円程度で買った株が一時は **1,800 円まで上昇**、なんと **9 倍**！今回は、そんな羨ましい話から株式投資を考えてみましょう！

彼が幸運に恵まれたのは、当時**誰からも見向きもされなかった銘柄を安値で買った**からですが、それを証券用語では「**逆張り**」と呼びます。逆張りとは、株価が下がっているときに買い、上がったときに売る手法のことですが、ここで疑問に思われる方もいるでしょう。どうして下降局面で買うのかと。普通感覚なら、買うとすれば上昇局面（この手法を順張りといいます）ですよね。ですから逆張りとは、**わざわざ人と違うことをする行為**なのです。



では実例を見ていきましょう。逆張りといえばこの銘柄です。2001 年の初めには 1 ドル程度だった株価が今では**約 150 ドル**、100 万円を投資していたら **1 億 5 千万円**に！（為替は考慮していません）現在、一家に一台といっても過言でない製品を世に送り出すこの企業の名は「**アップル**」です。しかし、当時はマイクロソフトの陰に隠れて、投資家からは相手にされず**株価が長期低迷**。この時期に同社の株を買った人たちはよほど先見の明があるか、**相当の天邪鬼**でしょう。しかし、その後の快進撃はみなさんがご存知の通りです。



一方、こちらは当時の**人気銘柄**であり、野球でいえば巨人・阪神クラス。ところが、100 万円を投資していたら現状では **50 万円**…。長らく低迷が続くこの企業の名は「**ソニー**」です。かたや 1 億 5,000 万円、かたや 50 万円。似たような製品を作っているのですが…

「人の行く裏に道あり花の山」とは相場の格言。人並みにやっていたのでは人並みの結果しか得られず、むしろ**他人とは反対のことをやった方が大きな成果を得られる**という教え。投資に限らず、人生全般においても示唆に富む格言です。右向け右も結構ですが、時には**へそ曲がり**になってみてはいかがでしょうか。ちなみに冒頭の彼が持っていたのは、近時注目を集める**ビットコイン（仮想通貨）の関連銘柄**。まだ誰も注目していない頃に仕入れていたわけですから、彼もかなりのひねくれ者です。(笑) でも、一つだけ腑に落ちないことが…。彼に株を教えたのは、他ならぬこの私。恩義を感じていれば、上がり始めたときに教えてくれてもよかったのに… (涙)

燃えるような夏が待ち遠しいなあ！

(株)亀山保険事務所 亀山裕弘 (M北D) 1 級ファイナンシャル・プランニング 技能士 0575-28-2768 info@kameyama-hoken.com